

Windows® User's Guide

for Qio™ Professional Universal Media Reader & Writer

Qio対応、プロフェッショナル・ユニバーサル
メディアリーダー&ライター・ユーザーズガイド



SxS P2

ExpressCard 34

CardBus



For Windows

Creativity Stored Here™

SONNET
SIMPLY FAST™
www.sonnettech.com

目次

1 概要および製品パッケージの内容	1
概要	
パッケージ内容—QIO-E34	
パッケージ内容—QIO-PCIE	
2 Qio筐体の説明	2
3 ハードウェアインストールおよび接続手順	3
A – Express Bus Extender PCIeインストール手順	
B – Qioをデスクトップコンピュータと接続する	
B – Qioをラップトップコンピュータと接続する	
4 BIOSセットアップとソフトウェアインストール手順	4
A – デスクトップユーザ用にBIOS設定を変更する	
A – ラップトップユーザ用にBIOS設定を変更する	
B – ソフトウェアのダウンロード	
C – SxSドライバのインストール	
D – P2ドライバのインストール	
E – SATAドライバのインストール	
5 メモリーカードとアダプタカードの使用方法	6
カードの挿入と取り出し	
対応カード一覧	
SxSメディア、ExpressCard/34アダプタの挿入と取り出し	
P2メディアの挿入と取り出し	
CF (CompactFlash) カードの挿入と取り出し	
Sonnet PCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタの使用	
SxS、P2メモリーカード書き込み禁止スイッチ	
6 Qioに接続されたドライブのフォーマット	7
ドライブフォーマットの概要	
7 役立つ情報と既知の問題	9
役立つ情報	
既知の問題	
8 技術情報、諸注意、製品保証、サポート情報	10
技術情報	
安全上の注意	
FCC 準拠	
カスタマーサービスへのお問い合わせ	

第1章：概要と製品パッケージ内容

はじめに

Qioは、ユニバーサルメディアリーダー&ライター、eSATAホストコントローラ、また、ExpressCard/34およびCardBusアダプタカードに対応の拡張用シャーシです。Qioには、Sonnet Express Bus Extender PCIe アダプタカード（デスクトップコンピュータ対応）、またはSonnet Express Bus Extender ExpressCard®/34アダプタ（ノートブックコンピュータ対応）が付属。いずれのアダプタカード製品も、単体製品として別売しています。

Qioでは、SxS™、P2、CompactFlash®メモリーカードスロットを各2基搭載、カードカード、カードコンピュータ、カード接続されたドライブとの間でのデータ転送が可能、さらにカード2枚以上を同時に使用してデータを同時に転送することが可能です。ExpressCard/34アダプタ（別売）を使用しますとMemory Stick™ MMC、SD、xD-Picture Card™メモリーカードの読み/書きを QioのどちらのSxSスロットからも行えます。

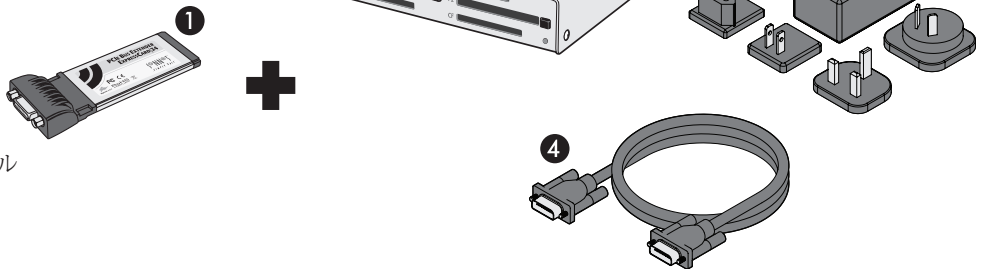
QioのeSATAコントローラはSonnet Tempo™ SATA E4Pホストコントローラをベースに設計されており、同じ性能とドライバを使用します。ポートマルチプライヤ、ハードウェアRAIDコントローラに対応、ドライブ最大16台（ドライブ筐体4台接続時）サポートします。

QioのSxSスロットはExpressCard/34アダプタカードに対応、また、P2スロットはCardBusアダプタカードに対応。互換性のあるアダプタの種類として、eSATA、FireWire®、Gigabit Ethernet、SmartCardリーダー、TVチューナー、USB、WiFi®、WWANモデム他が含まれます。アダプタカードとメモリーカードは同時に使用できませんが、使用するコンピュータのPCI Express®バスの帯域幅が不十分ですとパフォーマンスが制限されることがあります。

効率的に手順を進めるため、ぜひ本ユーザガイドをお読みいただきながらQioの使用を開始してください。

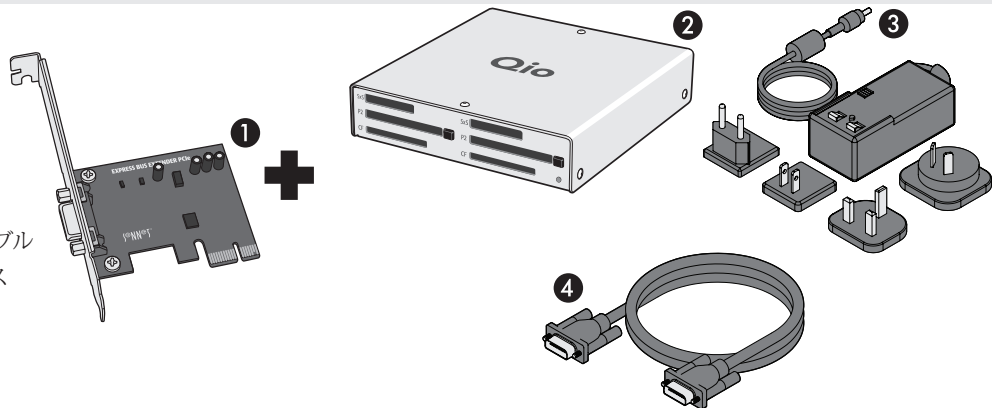
パッケージ内容—QIO-E34

- 1 - Sonnet PCIe Bus Extender ExpressCard/34 アダプタ
- 2 - Qioユニバーサルプロフェッショナルメディアリーダー/ライター（筐体）
- 3 - 12V電源とそれに接続する3メートル長ケーブル
- 4 - 1メートル長 PCIe x1 外付けインターフェースケーブル

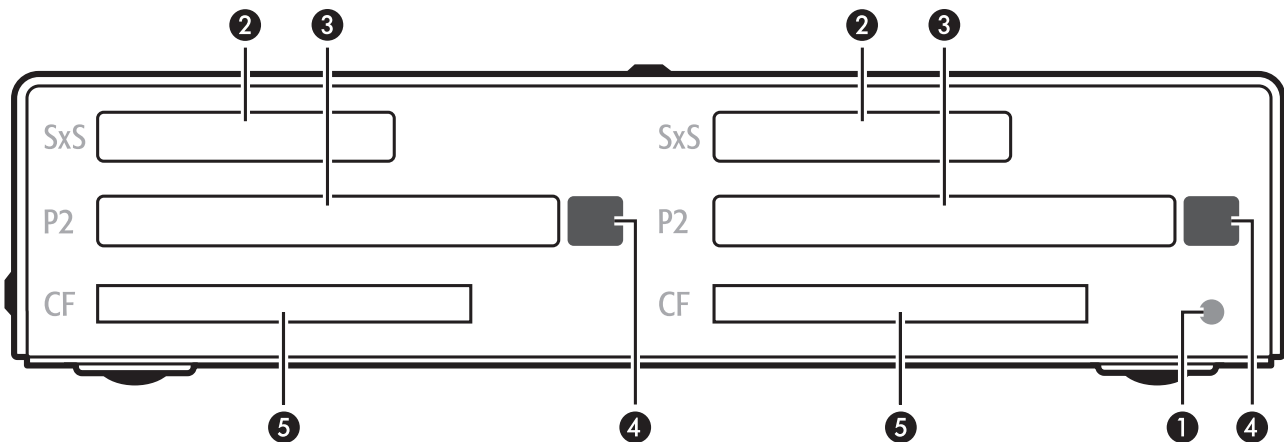


パッケージ内容—QIO-PCIE

- 1 - Sonnet Express Bus Extender PCIe アダプタカード
- 2 - Qioユニバーサルプロフェッショナルメディアリーダー/ライター（筐体）
- 3 - 12V電源とそれに接続する3メートル長ケーブル
- 4 - 1メートル長 PCIe x1 外付けインターフェースケーブル



第2章 : Qio筐体の説明



1 - 電源インジケータLED

インジケータはQioの電源と接続されている場合点灯します。Sonnetアダプタカードはスロットに適切にインストールされ、接続したPCIeケーブルが双方ときちんと接続されている場合は、コンピュータ側は電源供給がされています。

2 - SxS メディアスロット

これらのスロットでは、SxSメモリーカード、ExpressCard/34アダプタカードのいずれも使用可能です。ExpressCard/34アダプタ (別売) を使用しますと Memory Stick、SDXC、SDHC、SD、MMC、xD-Pictureメモリーカードの使用が可能になります。

3 - P2メディアスロット

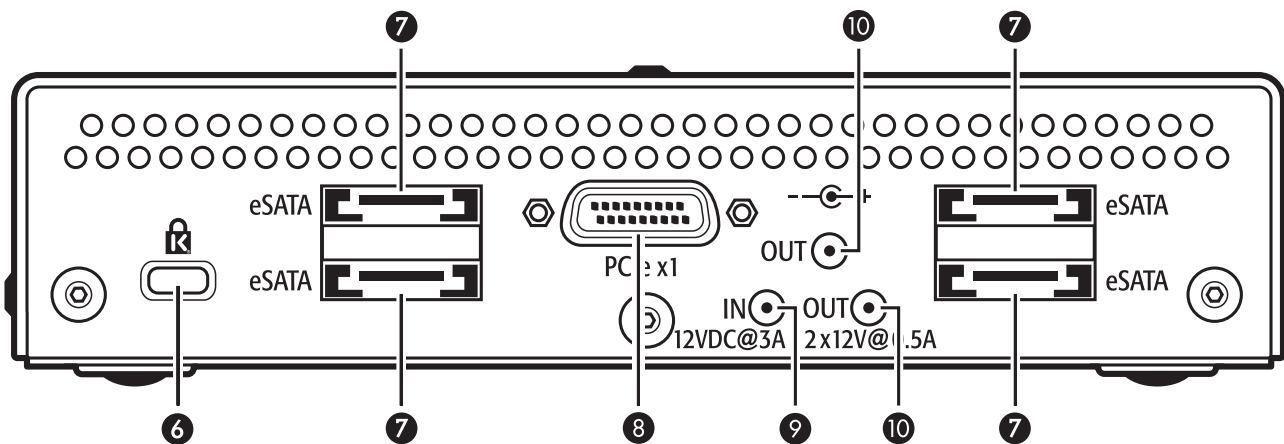
これらのスロットでは、P2メモリーカードの使用が可能です。

4 - P2メディアスロットの取り出し (イジェクト) ボタン

これらのボタンを押すとP2スロットからカードが取り出されます。

5 - CF (CompactFlash) カードスロット

これらのスロットではType I CF メモリーカードを使用可能です。QioはType II (Microdrive等、厚さが5mm規格) CFカードには対応していません。



6 - セキュリティスロット

このスロットはKensington®社ブランドおよび類似するセキュリティロック製品に対応しており、Qio筐体を保護するとともに盗難を抑止します。

7 - eSATAポート

このポートはeSATAデータケーブルを接続します。各ポートは、個々のドライブまたはeSATAインターフェース 筐体に搭載の最大4台までのSATAハードディスクドライブ (またはSSD)、ポートマルチプライヤ、内蔵ハードウェアRAIDコントローラに対応します。

8 - PCIe x1コネクタ

Qio筐体とコンピュータのPCIeバス拡張カードの接続時、このコネクタを付属のインターフェースケーブルの一端と接続します。

9- 12VDC入力ソケット

付属のAC電源アダプタケーブルまたは (バッテリーまたは他の電源供給源に接続された) XLR電源アダプタケーブル (別売) のいずれかを接続し、Qio筐体に電源を供給します。

10 - 12VDC 出力ソケット

このソケットから、接続したSonnet Fusion™ F2ドライブ2基RAID SATAストレージシステムに電源を供給します。電源の入力ケーブルをここへ接続しないよう注意してください。

第3章：ハードウェアインストールおよび接続手順



警告：コンピュータ製品を取り扱う際には、部品が静電気により破損しないよう細心の注意を払ってください。カーペットなど静電気の発生しやすい場所での作業は避けてください。カードを扱う際には必ず角の部分を持つようにし、コネクタ部分やピンには直接触れないようご注意ください。また、ロジックボードやロジックボードの部品に触れないようご注意ください。

A – Express Bus Extender PCIeインストール手順

QIO-PCIEモデルをお使いになる場合は、まずPCIeアダプタカードをコンピュータにインストールします。異なるモデルの場合は次ページに進んでください。

1. コンピュータの電源を落とし、次にコンピュータの背面にある拡張カードアクセスカバーに触れ、体に帯電した静電気を除去します。
2. 電源コード、その他コンピュータから電源を摂っているデバイス（モニター、プリンタ等）があればそれらのケーブルも外します。

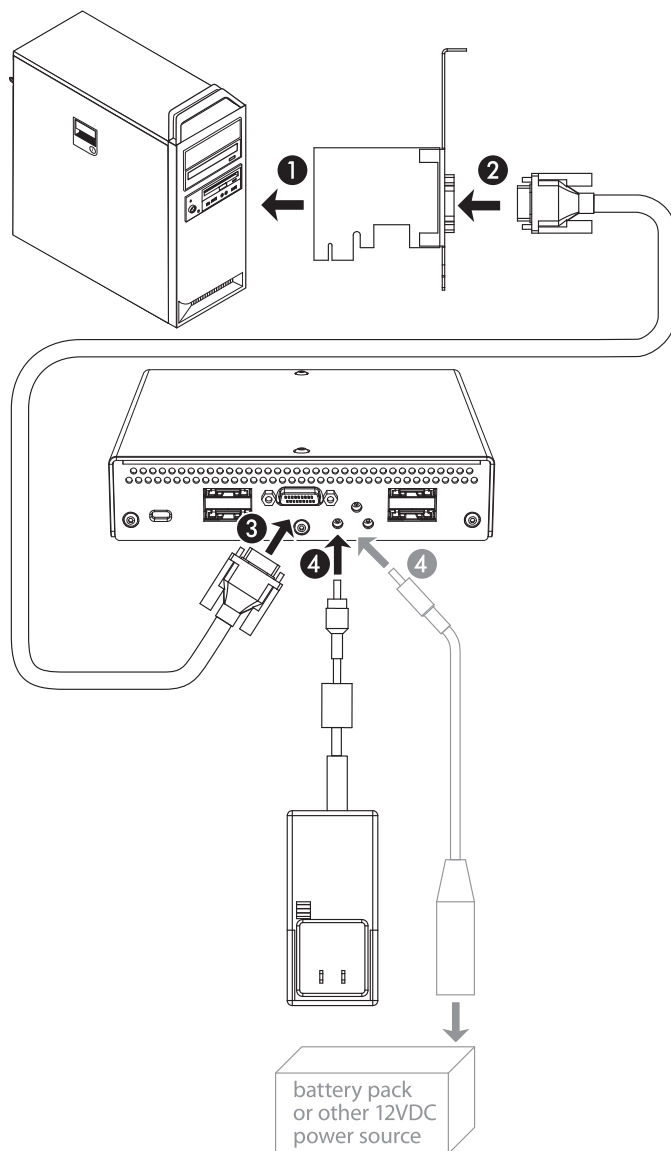


参考情報：静電気が再び帯電するのを避けるため、Qioのインストール完了、コンピュータを閉じる作業が完了するまでは作業中にむやみに歩き回らないようにしましょう。

3. 拡張カードスロットの場所で作業ができるようにコンピュータのケースを開きます。詳細はお持ちのコンピュータのユーザーマニュアルを参照してください。
4. カードをインストールする空きPCI Expressスロットを決め、そのアクセスカバーを外します。
5. Sonnetカードをパッケージから取り出し、スロットへインストールします。インストールしたカードがしっかりと装着されていることを確認してください。
6. コンピュータ筐体を閉じます。ただし、この時点ではまだ電源ケーブル等は接続せずにおきます。

B – Qioをデスクトップコンピュータと接続

1. Bus Extender PCIeアダプタカードをコンピュータにインストールする手順は上記の通りです。
2. 外付けPCIe x1 インターフェースケーブルをコンピュータのBus Extender PCIeアダプタカードに接続します。
3. ケーブルのもう一方の端のインターフェースをQio筐体に接続します。
4. ACアダプタまたは（バッテリーまたは他の電源供給源に接続された）XLR電源ケーブル（別売）をQioに接続します。
5. 電源ケーブル、周辺機器のケーブルをコンピュータに接続し直します。「第4章 - BIOSセットアップとソフトウェアのインストール手順」へ進んでください。

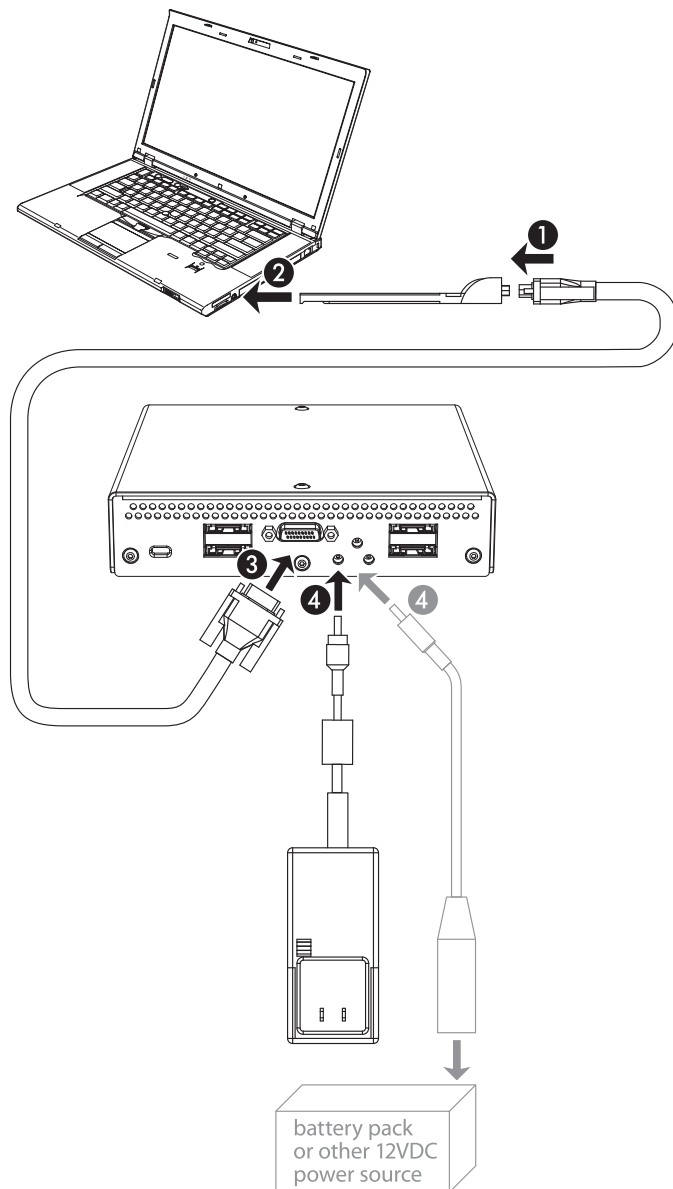


第3章：ハードウェアインストールおよび接続手順

B - Qioをラップトップコンピュータと接続

はじめに、コンピュータの電源を落とした状態でPCIe Bus Extender ExpressCard/34 アダプタとQio筐体を適切な順番で接続します。

1. 外付けPCIe x1 インターフェースケーブルとPCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタを接続します。
2. PCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタをコンピュータのExpressCardスロットへ挿入します。
3. ケーブルのもう一方の端をQio筐体に接続します。
4. ACアダプタまたは（バッテリーまたは他の電源供給源に接続された）XLR電源ケーブル（別売）をQioに接続します。



第4章：BIOSセットアップとソフトウェアインストール手順

A - デスクトップユーザ用にBIOS設定変更する



参考情報: PCI I/Oリソース領域が限られているため、コンピュータ内BIOSのオプションROMを少なくとも1つ以上無効化するための方法が記載されており、場合によってはSonnetカードを別のスロットに移動する必要があります。Qio性能をサポートには少なくとも1つのオプションROM項目を無効化しなければならないことがあります。BIOSにてオプションROMを再度有効化することは可能です。

1. コンピュータを起動後、直ちにコンピュータのBIOS (セットアップ) メニューに入ってください。詳細のそれぞれ特定の手順についてはコンピュータのユーザガイドを参照してください。
2. 「S errors (SERR#)」オプションを確認し、有効化されている場合には無効化してください
3. 変更を保存し、exitしますと再起動がかかります。コンピュータが通常起動された場合は、「C - ソフトウェアダウンロード」の手順へと進んでください。それ以外の場合は次の手順へ進みます。**備考:** Windowsでは、初めてQioおよびPCIeカードをインストールした後の起動時に、通常時と比べ長時間の待ち時間が発生します。デバイスマネージャ側で全てのQioデバイスの検出とドライバのインストールを行うためです。一連の操作がこの時に行われるのは正常な現象です。
4. コンピュータの電源を切ります。電源コードおよび電源供給されているデバイス (モニタ、プリンタ等) の残りのケーブルについても取り外してください。外し終わったら、筐体のケースを開き、拡張カードの場所を確認します。
5. Sonnetカードをスロットから取り出し、空きスロットにインストールしてください (グラフィックスカード以外の別のスロットであれば差し替えてインストール可)。カードが適切にインストールされ固定されていることを確認してください。
6. コンピュータ筐体を閉じ、電源コードおよび周辺機器のケーブル類を接続し直してください。
7. コンピュータの電源を入れます。通常起動で起動できるようであれば、「C - ソフトウェアのダウンロード」手順へと進んでください。通常起動がうまく行かない場合は手順4~6を繰り返し、別のスロットにインストール、そして全てのスロットについて試し、依然としてコンピュータがSonnetカードのインストールによるフリーズ現象がある場合は、Sonnetカードを前にインストールした各スロットへ再度インストールを試みてください。
8. コンピュータを起動後すぐに、BIOS (セットアップ) メニューに入ってください。
9. オプションROMの中で不使用な有効化項目を無効化するため、ロジックボードのLSI RAIDコントローラ項目ほかを確認し無効化してください。

10. 変更を保存し、exitするとコンピュータは再起動します。コンピュータが通常起動して立ち上がった場合は、「B - ソフトウェアのダウンロード」項目へ進んでください。それ以外の場合、コンピュータのシステム終了を行い、別の不使用のオプションROMの無効化を行うため、手順8~9を繰り返してください。



参考情報: コンピュータにインストールされたQioが原因でコンピュータが機能しない場合、Sonnetカードを取り外してSonnetサポートまたは製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。情報の詳細につきましてはWindows対応Qio FAQウェブページ www.sonnettech.com/support/kb/kb.php を参照してください。

A - ラップトップユーザ用にBIOSを設定変更する



参考情報: PCI I/Oリソース領域が限られているため、コンピュータ内BIOSのオプションROMを少なくとも1つ以上無効化するための方法が記載されており、場合によってはSonnetカードを別のスロットに移動する必要があります。Qioの性能をサポートには少なくとも1つのオプションROM項目を無効化しなければならないことがあります。BIOSにてオプションROMを再度有効化することは可能です。

1. コンピュータを起動後、直ちにコンピュータのBIOS (セットアップ) メニューに入ってください。詳細のそれぞれ特定の手順についてはコンピュータのユーザガイドを参照してください。
2. 「S errors (SERR#)」オプションを確認し、有効化されている場合には無効化してください
3. 変更を保存し、exitします。コンピュータを通常起動した後、「C - ソフトウェアダウンロード」の手順へと進んでください。それ以外の場合は次の手順へ進みます。**備考:** Windowsでは、初めてQioおよびPCIeカードをインストールした後の起動時に、通常時と比べ長時間の待ち時間が発生します。デバイスマネージャ側で全てのQioデバイスの検出とドライバのインストールを行うためです。一連の操作がこの時に行われるのは正常な現象です。
4. コンピュータを起動後、直ちにコンピュータのBIOS (セットアップ) メニューに入ってください。
5. オプションROMの中で不使用な有効化項目を無効化するため、ロジックボードのLSI RAIDコントローラ項目ほかを確認して無効化してください。
6. 変更を保存し、exitしますと再起動がかかります。コンピュータが通常起動された場合は、「C - ソフトウェアダウンロード」の手順へと進んでください。それ以外の場合は手順4~5を繰り返し行い、不使用の有効化項目を無効化してください。



参考情報: コンピュータから接続されたQioの操作ができない場合、Sonnetカードを取り外してSonnetサポートまたは製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。情報の詳細につきましてはWindows対応Qio FAQウェブページ「www.sonnettech.com/support/kb/kb.php」を参照してください。

第4章 : BIOSセットアップとソフトウェアインストール手順

B – ソフトウェアのダウンロード

1. インターネットにログオンします。
2. 「<http://www.sonnetech.com/support/kb/kb.php>」へアクセスし「Pro Media Readers」続いて「Qio for Windows」をクリック。
3. Locate and click the 「Driver」リンクを確認して「Qio System Installer (Windows)」リンクをクリック、「Download Now」ボタンをクリックします。設定内容によってはファイルの扱い方について許可のウィンドウが表示されますので、「開く」をクリックします。別のウィンドウが表示されファイルを開く許可を求めた場合は「許可」をクリックします。
4. .zipファイルの中身を表示するウィンドウが表示されるので、場所を確認の上「Extract Files (ファイルを解凍)」をクリックします。
5. 「Extract Compressed (Zipped) Folders (圧縮zipフォルダを解凍)」とのウィンドウが表示されたら「Browse (参照)」をクリックします。
6. 「Select a destination (保存先の選択)」ウィンドウが表示されるので保存先を指定し「Make New Folder (新規フォルダを作成)」をクリックします。フォルダ名を「Qio Installers」とし、「解凍」をクリックします。

C – SxS ドライバのインストール

1. 「Qio Installers」フォルダを開き「SxS_Driver_Installer_xxx」ファイルをダブルクリックします。「Open File – Security Warning」ウィンドウが表示されるので「Run」をクリックします。
2. 表示される「SxS device driver InstallShield Wizard」ウィンドウで「Next」をクリックします。
3. 次のウィンドウが表示されるので「Install」をクリックし、ドライバをインストールします。
4. 「Install Wizard Complete」ウィンドウが表示されるので、「Finish」をクリックします。



参考情報: Panasonic P2メディアをサポートのため、ドライバのインストールの際、P2メモリーカードをQioのP2スロットに挿入する必要があります。P2メモリーカードを挿入しないとドライバがインストールされず機能しません。P2カードをお持ちでない場合、このインストール後に行ってください。

D – P2ドライバのインストール

1. 「Qio Installers」フォルダを開き、64ビット版Windowsの場合は「P2Winx64」フォルダ、それ以外の場合は「P2Winx32」フォルダを開きます。
2. 「Setup.exe」をダブルクリックしインストーラを起動します。
3. 表示される「Open File – Security Warning」ウィンドウで、「Run」をクリックします。

4. 表示される「Panasonic P2 Drivers InstallShield Wizard」ウィンドウで、「Next」をクリックします。
5. 表示される「License Agreement」ウィンドウで、同意文を読み、「I accept the terms in the license agreement」をクリックし、「Next」をクリックします。
6. 表示される「Destination Folder (フォルダの保存先)」ウィンドウで、デフォルトの場所または保存先を指定し「Next」をクリックします。
7. 表示される「Ready to Install the Program」ウィンドウで「Install」をクリックします。
8. 表示される「Panasonic P2 Installation Window」ウィンドウで「P2 card CardBus driver (2 slot(s))」チェックボックスにチェックを入れ、「OK」をクリックします。
9. P2カードを挿入するようメッセージが表示されますので、P2カードをQioのP2スロットに挿入し「Install」をクリックします。ドライバがインストールされます。(Windows Securityウィンドウが表示された場合も「Install」をクリックします。)
10. 表示される「Install Wizard Completed」ウィンドウで「Finish」をクリックします。
11. 表示される「Panasonic P2 Drivers Installer Information」ウィンドウで「Yes」をクリックしコンピュータを再起動します。

E – SATAドライバのインストール

1. 「Qio Installers」フォルダを開き、「Tempo SATA Installer」フォルダを開きます。
2. 64ビット版Windowsの場合、「Tempo SATA Installer 64」を、それ以外の場合は「Tempo SATA Installer」をダブルクリックします。
3. 表示される「Open File – Security Warning」ウィンドウで「Run」をクリックします。
4. 表示される「Tempo SATA Installer」ウィンドウで「Next」をクリックします。
5. 表示される「End User License Agreement」ウィンドウで同意文を読み、「I accept this EULA」をクリックし「Next」をクリックします。
6. 表示される次のウィンドウで「Finish」をクリックします。ドライバのインストールが失敗した旨のウィンドウが表示された場合は「OK」をクリックします。**備考:**これは想定内の動作で、この後の手順で適宜修正を行います。
7. コンピュータを再起動します。

第4章：BIOSセットアップとソフトウェアインストール手順

8. 「Start」>「Control Panel」とクリックします。コントロールパネルウィンドウで、デバイスマネージャをクリックします。「User Account Control (UAC)」を無効化していない場合は「UAC」ウィンドウが表示されるので、「Continue (続行)」をクリックします。
9. 表示される「デバイスマネージャ」ウィンドウで「Storage Controllers」隣にある矢印をクリックし、リストを展開します。「Sonnet Tempo SATA QIO PCI Express Adapter」がリスト内に表示されたら、インストールは完了、Qioの使用準備は完了です。表示されなかった場合は次の手順に進んでください。
10. 「IDE ATA/ATAPI Controller」の所の矢印をクリックしリストを展開します。「Standard Dual Channel PCI IDE Controller」1件のみ表示された場合はその項目をダブルクリックし、手順14へ進んでください。それ以外の場合は次の手順に進んでください。
11. 最初の「Standard Dual Channel PCI IDE Controller」リストを選択し、右クリックしプロパティを選択します。
12. 「Standard Dual Channel PCI IDE Controller Properties」ウィンドウが表示されたところで「Details」タブをクリックし、「Property」ドロップダウンメニューから「Hardware id」を選択します。
13. リストされているIDが「PCI/Ven_11ab&Dev_7042…」であることを確認します。IDが適合した場合次の手順に進んでください。それ以外の場合は、「Standard Dual Channel PCI IDE Controller」が代わりのハードウェアIDに適合するものが見つかるまで 手順11～13を繰り返してください。
14. 「Driver」タブをクリックし「Update Driver (ドライバの更新)」をクリックします。
15. 「Update Driver Software (ドライバの更新)」ウィンドウが表示された所で「Browse my computer for driver software (コンピュータからドライバを検索)」をクリックします。
16. 表示される「Browse your computer for driver software)」ウィンドウで、「Let me pick from a list of device drivers on my computer (コンピュータのデバイスドライバの一覧から指定)」をクリックします。
17. 表示される「Select device driver you want to install for this hardware (ハードウェア用にインストールするデバイスドライバを指定)」ウィンドウで、「Standard Dual Channel PCI IDE Controller」を選択し、「Have Disk (ハードディスク使用)」をクリックします。
18. 表示される「Install from Disk (ディスクからインストール)」ウィンドウで「Browse (参照)」をクリックします。
19. 表示される「Locate File (ファイルの指定)」ウィンドウで、Tempo SATA Installerフォルダを指定します。64ビット版Windowsの場合は「amd64」フォルダを、それ以外の場合は「i386」フォルダをダブルクリックします。「mvsata」を選択し、「Open」をクリックします。
20. 「Install from Disk」ウィンドウに戻り「OK」をクリックします。
21. 「Select device driver you want to install for this hardware」ウィンドウに戻ってください。モデル名が「Sonnet Tempo SATA QIO PCI Express Adapter」に変更されます。



参考情報: ドライバが更新されると、QioのSATAコントローラはデバイスマネージャ上で「Storage Controller」と認識されます。

「Next」をクリックします。「Windows Security」ウィンドウが表示されるので、「Install」をクリックします。ドライバがインストールされます。

22. 「Windows has successfully updated your driver software (ドライバの更新が正常に完了)」ウィンドウが表示されたら「Close」をクリックします。
23. コンピュータを再起動すれば、Qioの使用準備完了です。

第5章：メモリーカードとアダプタカードの使用

カードの装着と取り外しについて

全ての種類のカードに共通する注意事項

- カードはスロットに対し平行に挿入してください。
- カードやQio筐体が破損する恐れがありますので、カードをスロットコネクタへ無理に挿入しないでください。
- 読み書きのデータ転送中にメモリーカードをQioから取り出さないでください。

SxSメディア、ExpressCard/34アダプタの挿入と取り出し

- カードを挿入する際は、カチッと音がする所までスロット内へ押し入れてください。
- SxSメモリーカードを実際に取り外す前に、タスクバーをクリックし「ハードウェアの安全な取り外し」>「安全にSony SxSを取り外す...」の手順を踏み、カードがイジェクトされたことを確認してください。この手順で行われない場合、メモリーカード上のデータが破損する可能性があります。
- ExpressCard/34アダプタを取り外す前に、タスクバーをクリックし「ハードウェアの安全な取り外し」>「安全にハードウェアを取り外す...」の手順を行ってください。
- カードを取り外す際は、再びカチッと音がする所までカードを押し入れると、カードが排出されます。
- カードを押さずに取り出さないようにしてください。次回スロットに挿入するカードが直ちに飛び出し問題が起こる場合があります。
- ケーブルとExpressCardアダプタを接続して使用する際、必ず先にケーブルをアダプタカードと接続し、その後アダプタカードをQio筐体のスロットへ装着してください。

P2メディアの挿入と取り出し

- カード挿入時には、スロット内でカードが止まる所まで押し入れてください。すると、スロットの隣にあるイジェクト（取り出し）ボタンが突き出た状態となります。
- カードを取り出す場合はカードスロットの隣のイジェクトボタンを押してください。

Sonnet PCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタの使用

- PCIe x1外付けインターフェースケーブルをPCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタに接続した後、そのアダプタカードをコンピュータのExpressCardスロットへ接続してください。
- コンピュータの電源がオフの場合を除き、PCIe Bus Extender ExpressCard/34アダプタをコンピュータから取り外さないでください。

CF (CompactFlash)カードの挿入と取り出し

- カードを挿入時、カードが止まる所までスロット内へ押し入れます。

- QioにCFカードを挿入した際コンピュータがCFカードを認識するため、デバイスマネージャ（「スタート」から、右クリックで「コンピュータ」、「管理 (Manage)」とクリックし、左側のペインで「デバイスマネージャ」をクリック）を開き、そこから「Action」>「Rescan Disks」とメニューをクリックします。

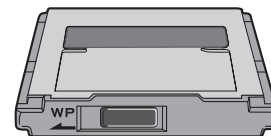


警告: CFカードを「（タスクバーから、安全に取り出すメニューを選択する方法での）イジェクト」を行わないでください。さもないとQioが無効化されてしまうことがあります。CFカードの中にはノンリムーバブルディスクとして認識されるものがあり、これらの種類のカードを取り出す際にタスクバーからのイジェクトを行うと、Qio全体（中に入ったメモリーカードや接続されたドライブなど）がイジェクトされてしまいます。もしCFカードをタスクバーからイジェクトした場合は、Qio機能をリストアするためにコンピュータの再起動をかける必要があります。

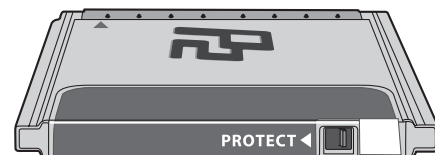
- CFカードを取り出した後は、ディスクのシステム管理情報を更新するため、デバイスマネージャを開き、「Action」>「Rescan Disks」と選択してください。

SxS、P2メモリーカード書き込み禁止スイッチ

SxS とP2メモリーカードには書き込み禁止スイッチが装備されています。「WP」または「PROTECT」位置に設定されている時、データの保存、編集および削除機能は使用できません。Qioの中へ挿入されている状態では、SxS、P2カードのスイッチ位置の変更を行わないでください。スイッチの位置を変更する必要がある場合は、前述の通り、カード取り出しの手順に従ってスロットからカードを取り出し、カードのスイッチの位置を変更し、その後再びスロット内へカードを挿入し直してください。



書き込み禁止スイッチの切り替えはQioスロットへカードが挿入されていない時に行ってください

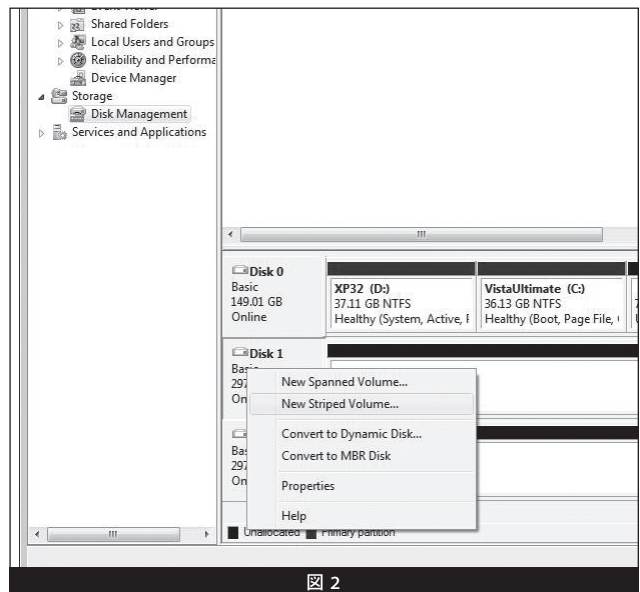
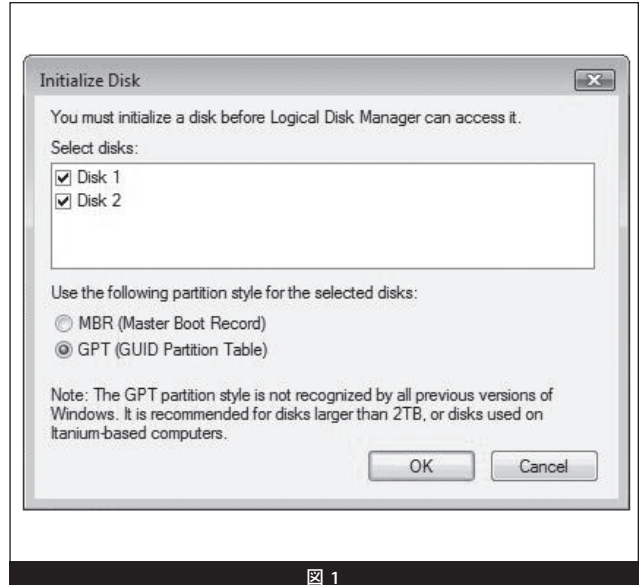


第6章：Qioに接続されたドライブのフォーマット

ドライブフォーマットの概要

Qioに接続されたドライブのフォーマットを Windowsのドライブフォーマットツールで行う際、Windowsヘルプメニューで「ボリュームのフォーマット (format volume)」と項目を検索するとより詳細な情報が掲載されている場合があります。下記の手順はWindows Vistaでのドライブのフォーマットおよび構築方法を示しています。Windows 7での手順も下記の手順と同様です。

1. ストレージシステムの電源を入れログオン後、スタートメニュー→コントロールパネルをクリックします。
2. 「コントロールパネル」ウィンドウで「管理ツール (Administrative Tools)」をクリックします。「User Account Control (UAC)」を無効化していない場合はUAC ウィンドウが表示されるので「Continue (続行)」をクリックします。
3. 「管理ツール(Administrative Tools)」ウィンドウで、「コンピュータ管理(Computer Management)」をダブルクリックします。
4. 「コンピュータ管理」ウィンドウで 「Storage」メニュー内から「ディスク管理 (Disk Management)」アプリケーションを起動させます。
5. 「ディスクの初期化 (Initialize Disk)」ウィンドウ、または ディスクが初期化されない旨のウィンドウ表示がされたらQioに接続したドライブのパーティションの種類を指定し「OK」をクリックします。ドライブが初期化されます (図 1)。Qioに接続されているその他のドライブについても必要に応じて初期化を行ってください。
6. 接続したドライブの名前フィールドを右クリックし、使用したいフォーマットの種類を指定します。Qioに接続されているその他のドライブについても必要に応じて初期化を行ってください。(図 2)。
7. 指定したフォーマットの種類によっては、新規パーティション作成ウィザードが起動し、オンスクリーン形式でドライブのフォーマットを完了することができます。ひとたびフォーマットが完了すると、ドライブを使い始められ



第7章：役立つ情報と既知の問題

役立つ情報

ホットプラグ対応カード製品

Qio筐体からホットスワップ、ホットスワップ機能を使ってメモリーカードを装着、取り外しが行えますが、適切な手順でボリュームをイジェクト（解除）しない場合は、カード上のデータの損失やコンピュータの予期せぬ動作を引き起こす原因となります。コンピュータがスリープ中にQio筐体へカード製品を挿入／装着しないでください。

Qio筐体のホットプラグ機能

Qio筐体のホットプラグ機能は未対応です。電源とQio筐体は接続されていて、かつQioはアダプタカードが本書4、5頁にわたり記載された手順に則っている必要があります。コンピュータの起動時点において、Qioにメモリーカードおよびアダプタカードは挿入済みである場合があります。

メモリーカードのフォーマット

最大限の互換性能を得るには、ご使用のカメラ製品内で、メモリーカードのフォーマットを行います。稀にQioにてフォーマットされたカードが認識されず、カメラに読み込まれる際に再フォーマットが必要となる場合があります。

デバイスドライバ

アダプタカードの使用時、フル性能で機能させるために、追加ドライバが必要となる場合があります。ソフトウェアはデバイスに付属、もしくは、製造元メーカーのウェブサイトにてダウンロードで利用可能です。必要なソフトウェア情報については該当の周辺機器のユーザーマニュアルを確認してください。

アダプタカードへ接続されたデバイスへの電源

Qio筐体に接続されたアダプタカードから直接電源供給を受ける周辺機器が殆どですが、中にはQioが供給する以上の電源が必要なデバイス機器においては、外部電源が必要となる場合があります。必要に応じて外付けで電源供給を行ってください。

既知の問題

Sonnet Internal Express Bus Extender PCIe Card使用するスロットによっては、CompactFlash (CF)カードが無効化と表示される

PCではPCI I/Oのリソース領域が非常に限られているためにカードをインストールするスロットによってはCFドライバが起動するのに十分なI/Oリソースが割り当てられていないことがあります。この現象は内蔵Express Bus Extender PCIeカードを別のスロットに差し替えることで問題が解決される場合がしばしばみられます。

ホットプラグ式ではCFカードが自動的に認識されない

CFカードはIDEハードディスクドライバを使用しており、ホットプラグ機能を想定していないため、カードを挿入した後に、デバイスマネージャを開いて、新規デバイスのスキャン (Scan for New Devices) を行って検出をかける必要があります。CFカードがホットプラグ式に使用できるようSonnetでは現在アップデートの開発を進めています。

Qioをインストール後、Ethernet接続ができない

いくつかのケースで、Qio がインストールされると、Windowsが新しいポート番号を割り当てるために「アダプタの設定(Adapter Settings)」内のEthernet特定の設定がリセットされてしまう、という現象があり、Sonnetは現在この問題について調査中です。

第8章：技術情報、安全上の注意、FCC準拠、製品保証とサポート情報

技術情報

外付けコネクタ (Qio筐体)	CompactFlash 2基 アダプタカード(P2) 2基 ExpressCard/34 (SxS) 2基 eSATA 4基 外付けPCIe x1 - 18 電源3基: 12VDC@3A入力 (最大 20VDC, rev. d以降) 1基、12VDC` .5A出力 2基
外付けコネクタ (アダプタカード)	外付けPCIe x1 - 18
データ転送スピード	集合値で最大200 MB/秒
バスインターフェース	PCI Express x1
CompactFlash スロット対応メディア	Type I CompactFlash
CardBusスロット 対応メディア	P2, P2 E-series
ExpressCard/34 スロット対応メディア	SxS, SxS Proに対応。別売のアダプタ併用時は、加えてSD、SDHC、SDXC、Memory Stick、MMC、xD-Picture Cardに対応
対応ドライブ数	最大16台*
対応ドライブの種類	シリアルATA I & II
ファームウェア	Flash-ROMにより最新のファームウェアのバージョンへアップグレード可能
起動ディスクのブート	未対応
寸法(Qio筐体)	WxDxH:14.9 x 15.7 x 3 cm
重量(Qio筐体)	0.5 kg
RoHS準拠	準拠しています

* 最大16台のサポートにはハードウェアRAIDコントローラ搭載のドライブ筐体 (ソネットのFusion QR)の使用が必要です。

安全上の注意事項

作業を開始する前に必ずこの項をよくお読みください。この注意事項では、身体の安全を守り、本デバイスの損傷の可能性を最低限に抑えらるよう、製品の正しく安全な使用方法を説明しています。

警告

取り扱いを誤ると、感電やショート、火災、その他発生する可能性のある危険により死亡または重傷を負うおそれがありますので、常に以下の基本的な注意事項を守ってお使いください。以下の注意事項が挙げられますが、これに限定されるものではありません。

- ユーザが扱える部品の交換以外は、決して筐体の分解や改造を試みないでください。正常に動作していないように思われる場合は、製品をお求めになられた正規代理店または販売店までお問い合わせください。
- 筐体やアダプタを落下させたり乱暴に扱うと故障の原因になりますので、取り扱いの際には充分ご注意ください。

- 筐体内部に指や異物を差し込まないでください。特に小さなお子様がいらっしゃるご家庭ではご注意ください。
- 本デバイスを雨にさらしたり、水の近くや隙間にこぼれる恐れのある液体が入っている容器の近くで使用したり、湿気が高いまたは濡れた状態で使用しないでください。
- 異臭や異音、煙などが本デバイスから生じた場合や誤ってデバイスを濡らしてしまった場合は、直ちに電源を切り、コンセントからプラグを抜いてください。
- 必ずこのマニュアルに記載の順に従ってください。ユーザガイドに記載されていない情報が必要な場合は、製品をお求めになられた正規代理店または販売店までお問い合わせください。

FCC 準拠

Express Bus Extender PCIe, PCIe Bus Extender ExpressCard/34, Qioは、FCC規制パート15に準拠しています。この機器は次の要件2点を満たした上で稼働します。この機器は有害な電波干渉を引き起こさないこと、且つ、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、あらゆる干渉を受け入れること。

製品保証とカスタマーサービスへのお問い合わせ

ソネットテクノロジーズ社は本製品の最初の購入日より5年間、製品上、材質上の欠陥が無いことを保証とします。製品保証に関する全ての情報は、www.sonnettech.com/support/warranty.html をご覧ください。

本製品に関するテクニカルサポートについては、お買い上げいただいた販売店までお問い合わせください。お問い合わせいただく前に、Sonnetのウェブサイト (www.sonnettech.com/jp) から最新のアップデート、オンラインでサポートファイルがあるか確認し、このユーザガイドをもう一度よくお読みください。

Contacting Sonnet Customer Service

For USA Customers

The Sonnet Web site located at www.sonnettech.com has the most current support information and technical updates. Before you call Customer Service, please check our Web site for the latest updates and online support files, and check this User's Guide for helpful information. When you call Customer Service, have the following information available so our customer service staff can better assist you.

For the most current product information and online support files, visit the Sonnet Web site at "www.sonnettech.com/support/". Register your product online at "<http://registration.sonnettech.com>" to be informed of future upgrades and product releases.

- Product name
- Date and place of purchase
- Computer model
- PCIe card models
- Operating system version
- Software/firmware versions

If further assistance is needed, please contact **Sonnet Customer Service** at:

Tel: 1-949-472-2772

(Monday-Friday, 7 a.m.-4 p.m. Pacific Time)

E-mail: support@sonnettech.com



Sonnet Technologies, Inc., California USA • Tel: 1-949-587-3500 Fax: 1-949-457-6349 • www.sonnettech.com/jp

©2014 Sonnet Technologies, Inc. All rights reserved. SonnetおよびSonnetのロゴ、Simply FastおよびSimply Fastのロゴ、Fusion、Tempo、QioはSonnet Technologies, Inc.の登録商標です。 FireWire、Mac、Macのロゴ、Mac OS、MacBookは、米国内または他国におけるApple Inc.の登録商標です。 Memory Stick、SxSはソニー株式会社の登録商標です。 ThunderboltおよびThunderboltロゴは、米国内または他国におけるIntel Corporationの登録商標です。 その他の商標については当該各社が所有権を有します。 製品に関する情報は予告なしに変更されることがあります。 Printed in the U.S.A. UG-QIO-PC-J-K-110514